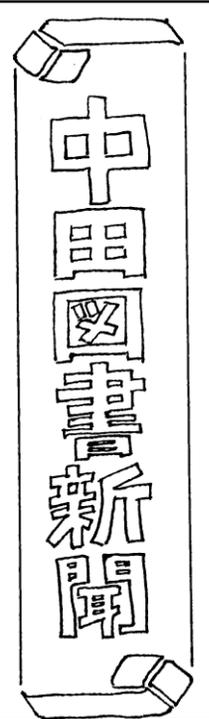


BOOKSなかなだ 掛尾本店・コミックラボ 富山市掛尾町180-1 TEL076-492-1192



【主な記事】
・いつか見た絵
・ロウソクは科学の始まり？
・おもしろく生きるコツ

いつか見た絵

敬愛する和田誠さんが亡くなった。本紙五十二号で「和田誠と日本のイラストレーション」展のことで、採り上げたのが二年前。その記事の結びが「末永くお元気で」だっただけに残念だ。
和田さんの絵を初めて見たのはいつだろう。本の表紙絵だったことは間違いがないが、どうしても思い出せない。それくらい身近に表紙や装丁を担当された本がたくさんあって（昔集めようとしたりしたことがあった）、早々に諦めた。誰か全装丁・挿画集を作った下さ（）、知らない間にファンになった。これは僕に限ったことじゃないと思

う。本当に皆から愛されたイラストレーターだった。和田さんを見たことが一度だけある。金沢21世紀美術館で行われた「映画とジャズ」と題したトークショーで、ピアニストの佐山雅弘さんと交えての楽しいひと時。和田さんの映画と音楽の知識はやっぱり圧倒的で、話に出てきた曲を

佐山さんがさらりと弾いてくれていると、夢のような贅沢さであった。その山さんが故人となつてしまつたが、それはまた別の話。多才な和田さんのお仕事から何かひとつを選ぶのは難しいが、個人的に思入があるのは『いつか聞いた歌』*。和田さんが好きになつたスタンダードナンバーについて思いつくままに書き綴つた一冊だ。「Beethoven's Song's Eubed」に始まり「The Song's Eubed」で終わるという洒落た構成。スタンダードといつても当時は流行歌だったわけでも、ミュージカルや映画のために作られた曲となれば、和田さんの独壇場だ。勿論イラストも素敵。歌は終わつてもメロディは残る。和田さんは亡くなつてしまつたけれど作品は残る。いつまでも。
*現在文庫・増補改訂版ともに品切れだが強く復刊を希望したい。なおCDで「スタンダード・ラブ・ソングス」「ソング・アンド・ダンス」「ブロードウェイ・アン・ド・ハリウッド」の三集まで発売されている（ソニーミュージック）。

警備員の風景



和田誠

六十一年以上にわたる画業を一望できる『定本和田誠時間旅行』がおすすすめです。
七十歳を超えてから金銭的事情により警備員の仕事に就いた男性が綴る『交通誘導員ヨレヨレ日記』がひっそりと重版を重ねています。
何か感動的な話があるわけでもなく、だからと言つて強烈に悲惨な体験が登場するわけでもありません。淡々と描かれるのは、簡単そうで忍耐と技術を求められる仕事内容、日々違う派遣先での人間関係の苦労、楽な現場もいろいろ困難な任務を全うしたときに得られる充実感などなど。それらに静かな共感を得られ、知的好奇心が少しづつ満たされます。また、良識を感じる人物がほとんど登場せず、警備の現場のリアルな人間模様が伝わってきます。読み終えたときには、街で見かけない日はない警備員たちの仕事ぶりや人間関係に興味がいってくることでしよう。

十兵衛・惟任・日向守

は人それぞれなのでしょ、うが、私の理由は、きちんとあります。それは、二年と前のある場所で、殺気立つた大勢の観光客に「踊り手はいつ来るのか!？」と何度も怒号を浴びながら、堂々と場を仕切っていた、七十歳がらみの男性警備員がとにかくカツコよかつた記憶があるからです。その現場とは、九月初めの夜十時過ぎ、八尾おわら風の盆真つ最中の諏訪町本通り。風情ある人気町名所で、踊り手が時に中断しながらゆっくり坂を下りてくるのを数時間苛立ちながら待つ観光客たち。多くが年配者の観光客とトラブルにならない客と毅然と接するのは容易でありません。今から思えば警備会社が頼りになりそうな彼に託した、祭り期間中の最難関の現場だったのでしょう。縁の下の力持ちであるそんな警備員たちの風景を紹介する本書は、充分楽しめる一冊です。
④



明智光秀

の関ヶ原の戦いもあれば、一軍師官兵衛が九州から攻め上り東軍と戦うからと思えば、(真田丸)にて寡兵を以て家康を討ち取ることもできよう。
『信長の野望』は置いて、来年の大河ドラマは麒麟がくるで明智光秀が主人公。最新の評伝『明智光秀伝』の著者・藤田達生氏は『本能寺の変』(講談社学術文庫)を書き「本能寺の変」研究の第一人者として知られる。
秋田書店のコミック『信長を殺した男』が売れているように、本能寺の変の原因は何か、黒幕がいるのではないかとという話が好きな人が多いようだ。本書にも本能寺の変の真因に対する見解が表明されており、光秀の評伝という体裁をとりにながら、織田政権の概説書ともいえる。光秀は単なる反逆者と思つていなる人も多いかもしれないが、本書を読めばそんなイメージも変わるに違いない。
光秀に限らず、戦国時代が舞台の作品は毎回視聴している。きっと人生に必要なことは『信長の野望』が教えてくれるからだろう。
⑤

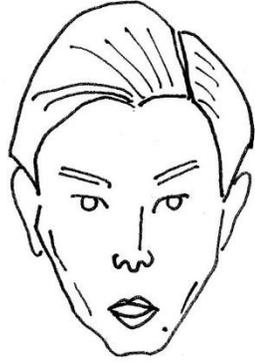
【書誌情報】『いつか聞いた歌』(和田誠・文春文庫 466円【重版未定】)『定本和田誠時間旅行』(和田誠・玄光社 4,000円)『いつか聞いた歌～スタンダード・ラブ・ソングス』(SICP-30012 2,700円)『いつか聞いた歌 2～SONG & DANCE』(SICP-30408 2,700円)『いつか聞いた歌 3 ブロードウェイ・アンド・ハリウッド』(SICP-31059 2,700円)『交通誘導員ヨレヨレ日記』(柏耕一・三五館シンシャ 1,300円)、『明智光秀伝』(藤田達生・小学館 1,300円) ※ 価格は本体価格です。

おもしろく

生きるコツ

お笑い芸人「ハライチ」の岩井勇氣と聞くと、三年前なら「ああ、澤部じゃないほうね。」と言われていたと思う。ところが最近じわじわと深夜バラエティやラジオで人気を獲得し、九月に発売したエッセイ集『僕の人生には事件が起きない』も重版を重ねている。

ら、漫才中三分間沈黙する岩井と、交信を信じて待つ澤部のネタも最高なので機会があれば観てほしい。「王道漫才では生き残れない」と割り切った上で王道に勝ち得る新しい漫才を作り上げてくるハライチはどのようにして生まれのか。「僕と澤部」という回を読んでいただければその答えが垣間見える。



岩井勇氣

講談界の救世主は

かなり猫背です

来年二月に真打昇進、そして大名跡「六代目神田伯山」襲名を控える講談師、神田松之丞。生い立ちから講談との出会い、芸道論までを聞いたインタビュー集『絶滅危惧職、講

談師を生きる』が、新たに章を加えて文庫になった。私が初めて松之丞を知ったのは、「BSラジオの」問はず語りの松之丞「だった。このご時世に、こんなにも人の悪口ばかり喋っていいのかと笑いつつも、結局この1年で〇〇を購入して、高座を見に行くとまでにドハマリしてしまった。



神田松之丞

隙あらば猫、の集大成

定期的にお目当ては九月行く事を楽しみにしている。今回のお目当ては九月下旬より十一月まで開催していた「町田尚子原画展」。作家京極夏彦著作の『ざしきわらし』と今年人気の絵本『なまえのないねこ』の二冊の原画展だ。絵本好きにも猫好きにも妖怪好きにもたまらないライオンナップであった。

近しい人ほど

感情は……

怒ったり、許せなかったりという感情は、若かりし頃のもの。しかし、その感情はなかなか塗り替えられないまま、日常を積み重ね、過去から現在へと断捨離できずに持ち続けてしまっている。

インターネット黎明期に

生まれた作品を今再び

「小説家になろう」をはじめとした小説投稿サイトに掲載された作品が一般出版社から書籍や文庫として発行され、コミカライズやアニメ化と



カケオくん

22



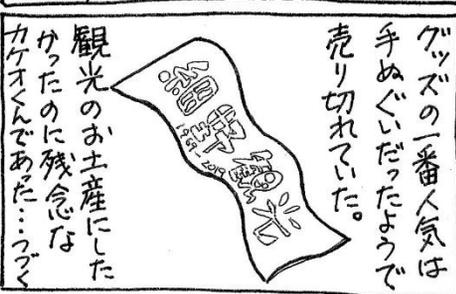
細野晴臣デビュー50周年記念展「細野観光1969-2019」に行ってきました。



見どころはいろいろあったが、細野さんの愛機の展示は鳥肌ものであった。



細野さんの本棚の再現も楽しい。マンガ家を目指していただけあってコミックが充実している。



グッズの一番人気は手ぬぐいだ。売りが切れていた。

【書誌情報】『細野観光1969-2019』（井出幸亮・朝日新聞出版 三一八二円）

から新しい作品群が発売になりまし「スレ発ラノベ」と題し四つの作品がMF文庫とKADOKAWAのAWAブックスから発行された。元々はインターネット上の掲示板に投稿された十年以上前の（古い）AA（アスキーアート）と呼ばれる文字で表現された絵柄と文章で構成された、独特なものでした。

異世界転生もチートも無いけど

錬金術始めました。

このAAというものは二次創作要素が強いものが多く、権利関係が存在するたため、さすがに商品化は無理だろうと思ってい

映画やゲーム、アニメに登場するような、架空の物質で作られたアイテムの数々。ファンタジー好きであれば心が躍りますよね。『魔法雑貨の作り方』はその名の通り、画面の向こうの雑貨を実際に作る方法が記されています。

やSNS掲載のガイドラインも細かく記載されているので、安心して製作に没頭できるのも嬉しいところ。ハンドメイド入門となるとやや難易度の高い雑貨が多そうですが、あえて「落ちこぼれ錬金術師の俺が、ガムシヤラに修行していたらいつの間にか最強に」なんて設定でチャレンジしてみても面白いかもしれせん。

あるある！ 耳が痛い！ 何とかしたい！

『ズボラ習慣をリセットしたらやる気な自分が戻ってきました』は、自分の体験から人生の苦手を克服するコミックエッセイを描くわたなべぽんさんの新刊です。今回の克服対象はズボラです。

にちよつと座って横に荷物を置きっぱなし、シンクの汚れ気づいた時に拭き取ればよいのに休みにまとめ

【編者あとがき】 2019年は天皇陛下のご即位やラグビーワールドカップ、当店としても掛尾本店やファボーレ店の改装オープンなど、話題の多い年でした。2020年もいい年になりますように。

【お知らせ】 10/19、ファボーレ店リニューアルオープン！ twitter やってます。 掛尾本店 @nakadahonten コミックラボ @tomi_labo ファボーレ店 @nakadafavore 魚津店 @nakadauozu イオンかほく店 @nakadakahoku